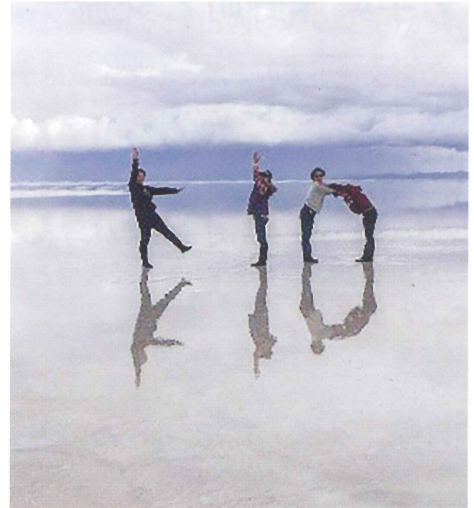


派遣事業研修報告①

移民した方々と交流し絆を深め、移民の歴史を学びたい!!

平成31年1月9日～2月12日に実施された青年海外派遣事業で海外5ヵ国（ブラジル・アルゼンチン・ボリビア・ペルー・米国ロサンゼルス）へ行って来た研修生、保良^{やすら}祐衣子^{ゆいこ}さん・仲間^{なかま}周^{あまね}さんの研修報告をシリーズでお届けします。今月はブラジル・アルゼンチン・ボリビアでの研修について報告します。

当事業は金武町の青年を海外へ派遣し、各国の異文化体験を通じて国際的な視野を広げ、地域において意欲的に活動する青年の育成を図ること、移住地との交流の懸け橋となれる人材の育成を図ることを目的としています。



▲元研修生とボリビアウユニ塩湖にて「KIN」



ブラジル

Brazil

1月10日～1月18日



伊芸さんのバナナ園。二房約25kg。



新年会で演舞してくれた祭り太鼓の皆さん



マリंगाにある宜野座さんのお店

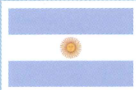
ブラジルでは、金武町人会の方々から沖縄・金武町に対する強い誇りがあることを、新年会のかぎやで風や祭り太鼓等、沖縄の伝統芸能を大事にしているという印象を受けて感じました。また、ブラジルへ移民した方々は、人種差別や過酷な労働環境でとても苦労したという話を聞きましたが、その分日系人はブラジルの人に強い影響を与えたのだと感じました。私はブラジルに行ってさらに沖縄で生まれたことに誇りを持つことができました。

保良 祐衣子さん

南米一の都市サンパウロ。時代の流れを感じる日本人街や路地、エリアで人々の雰囲気も異なり、様々な人種で構成され、パワフルさと同時にブラジルの競争社会の厳しさを感じました。そんな中でウチナンチュが色んな分野で活躍していると聞き、同じウチナンチュとして鼓舞される思いでした。親の世代が、ルーツである沖縄の歴史文化を熱心に伝え、若者がそれに誇りを持って活動している姿は、ブラジルに金武町人会の強い存在感を放っているようでした。

仲間 周さん

平成 30 年度 青年海外



アルゼンチン *Argentina* 1月19日~1月24日

ブエノス・アイレスにうるま園という場所があり、そこでは、ゲートポールをする人がいたり、沖縄の方言が聞こえてきたりと、アルゼンチンでも沖縄を感じたのが面白かったです。また、タンゴ、とても歴史があるテアトロ・コロン劇場の見学では、アルゼンチンの歴史や文化を知ることができて良かったです。また、アルゼンチンの親戚に会うことができました。親戚がいることは知っていたのですが、初めて親戚の方々と会い、繋がるのができてとても嬉しかったです。

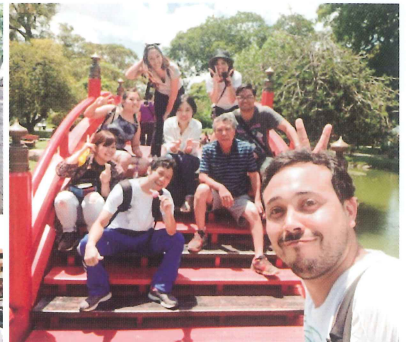
保良 祐衣子さん

ブエノス・アイレスは、ヨーロッパ諸国の美を寄せ集めたような建物が競い合うように立ち並び、常に目を奪われます。歴史を物語るモニュメントがいくつもあり、街全体が美術館のようでした。新年会は、うるま園という場所で、アサード(屋外で焼肉料理)を頂きながら行われました。和やかな雰囲気の中、昨年の研修生と一緒に三線と歌を披露しました。大変緊張しましたが、三線を通して沖縄への想いを共有できたような気がしました。

仲間 周さん



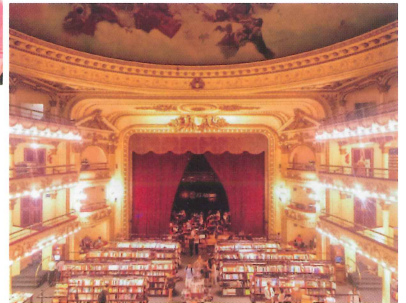
▲うるま園にて



▲元研修生が案内してくれた日本庭園



▲初めてあった親戚の皆さんと



▲劇場を改装して造られた本屋さん



ボリビア



Bolivia 1月24日~2月1日



▲豆腐の量り売り

▼賑やかだった新年会



◀ パスタ工場にて
商品名は「Okinawa」



◀ 第2コロニアオキナワ。山城茂さん宅で

ボリビアではもう一つのオキナワがあり、商店や沖縄料理屋、当たり前のように日本語が話されていたり、日本・沖縄の文化がそのまま残っている部分があり不思議な感覚でした。また、移民の歴史を伝えようとしている若い世代の姿がとても印象的で、次世代に繋いでいくことの難しさを改めて知りました。そんな中、コロニアのデイサービスを訪れ1世の方々に移民当時のお話を聞くことができたことはとても良い機会でした。牧場や畑、ウユニ塩湖と、沢山の自然に触れることもできて良かったです。

保良 祐衣子さん

ここは本当にボリビアですか?と、疑いたくなるほどの空間「コロニア・オキナワ」。聞こえてくるのは、ほとんどが日本語かうちなーぐち、歌うのは演歌やJ-POP。まちやぐわーでは豆腐の量り売り、道は赤土埃が舞っていたりと、懐かしい空気が漂っていました。それは、皆が顔見知りで、かつて金武でもヒージャーをつぶして皆集合し囲って食べた、ゆる〜くあたたかな感じです。デイケアでは、婦人会の方がボランティアで食事からレクまで行っており、この「オキナワ」を厳しい環境から築き上げた参加者達の、元気で楽しそうに笑う姿がとても印象的でした。

仲間 周さん